

「これ何なのよ?!」
何か言いなさいよツ!!!

「.....」

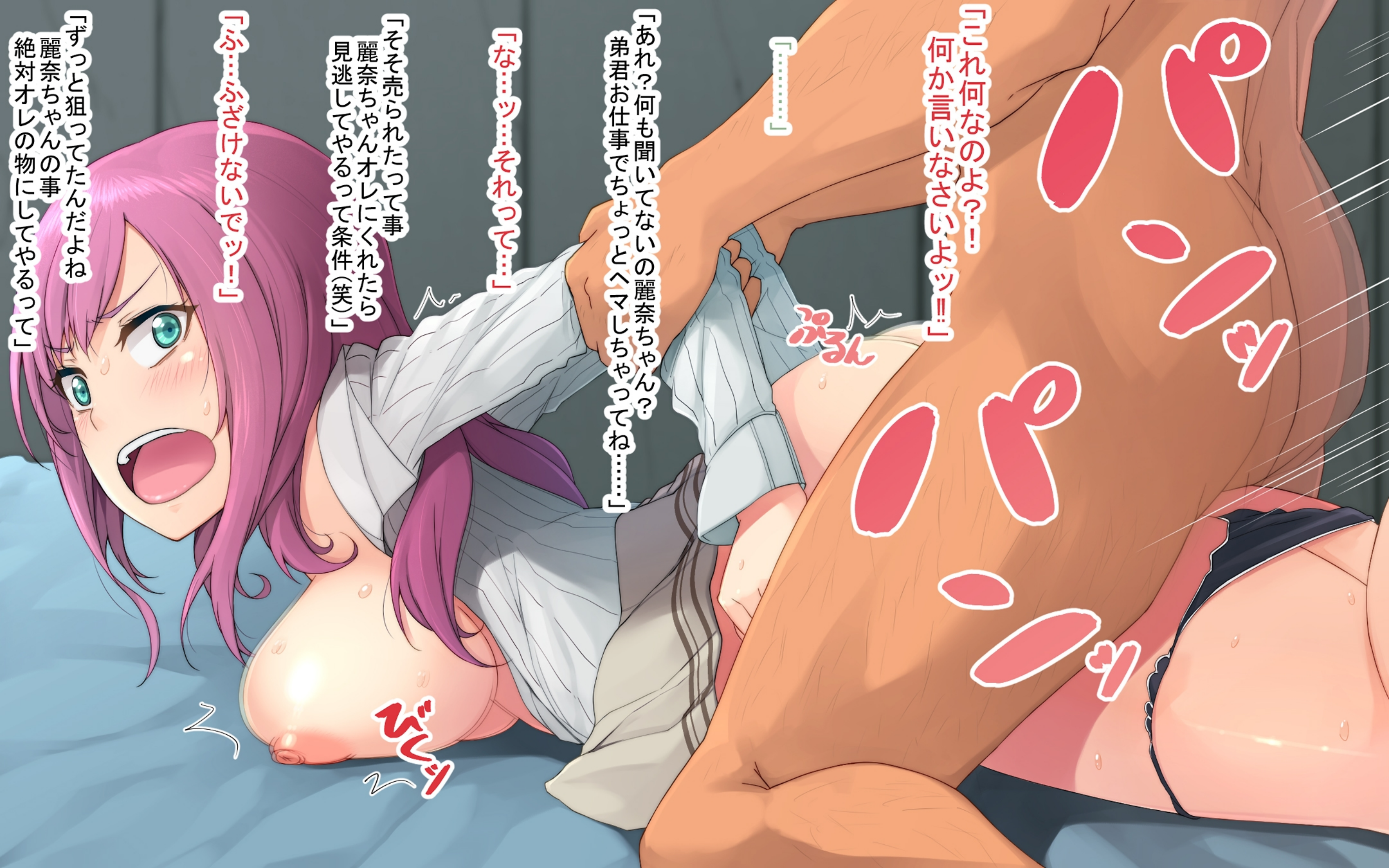
「あれ?何も聞いてないの麗奈ちゃん?
弟君お仕事でちよつとへましちゃってね.....」

「な.....ッ.....それって.....」

「そそ売られたたって事
麗奈ちゃんオレにくれたら
見逃してやるって条件(笑)」

「ぶ.....ぶざけないでッ!」

「ずっと狙ってたんだよね
麗奈ちゃんの事
絶対オレの物にしてやるって」



「あ……ッ
ん……ん……ぐッ!!」

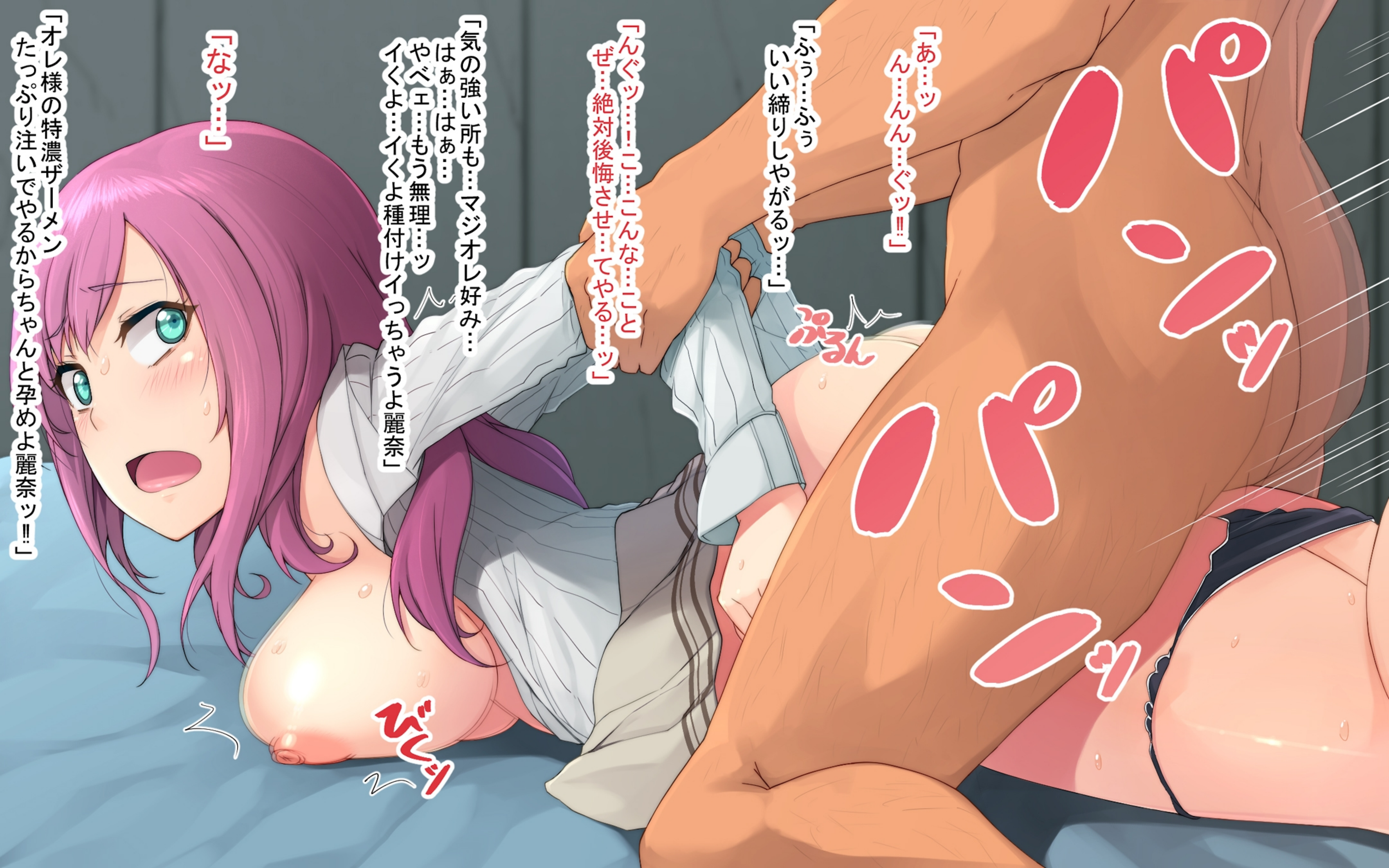
「ふう……ふう
いい締めりしやがるッ……」

「んぐッ……」「……」「んな……」と
ぜ……絶対後悔させ……てやる……ッ」

「気の強い所も……マジオレ好み……
はあ……はあ……
やべエ……もう無理……ッ
イクよ……イクよ種付けイっっちゃうよ麗奈」

「なッ……」

「オレ様の特濃ザーメン
たっぷり注いでやるからちゃんと孕めよ麗奈ッ!!」



「ま…待って待ってツ!!!
今日だめツだめ…駄目なのツ!!!」
「お…危険日ま〇…って訳か?
すげえ燃えてきた」

「お…お願いしますッ
中は許してッ許してくださいッ!!!」

「麗奈はもうオレの物だからな
オレの好きにやらせてもらっぜ」

「わ…わたし…も…うすぐ
け…結婚ッ結婚するんですッ!!
だから…お願いしますッ!!
許してえええッ!!!」

「オレの方が麗奈の事幸せにできるって
な?だから安心して
オレのガキ孕めッ!!!」

「いやあああああッ!!!」



「麗奈孕めッ！孕めええええッ！！」

ド
フ
びゅ
びゅ

「わ……わたし……た……たねっ……け
され……ひっ……う……う……う……う……」

「ふい……危険日ま○」を
無理矢理種付け……あゝ幸せ(笑)」

「ひぐッ……ひぐッ……
アキ君……たす……け……」

「アキ君？そんな奴の事は
すぐに忘れさせてやるよ麗奈
オレのち○ぽでな♡」

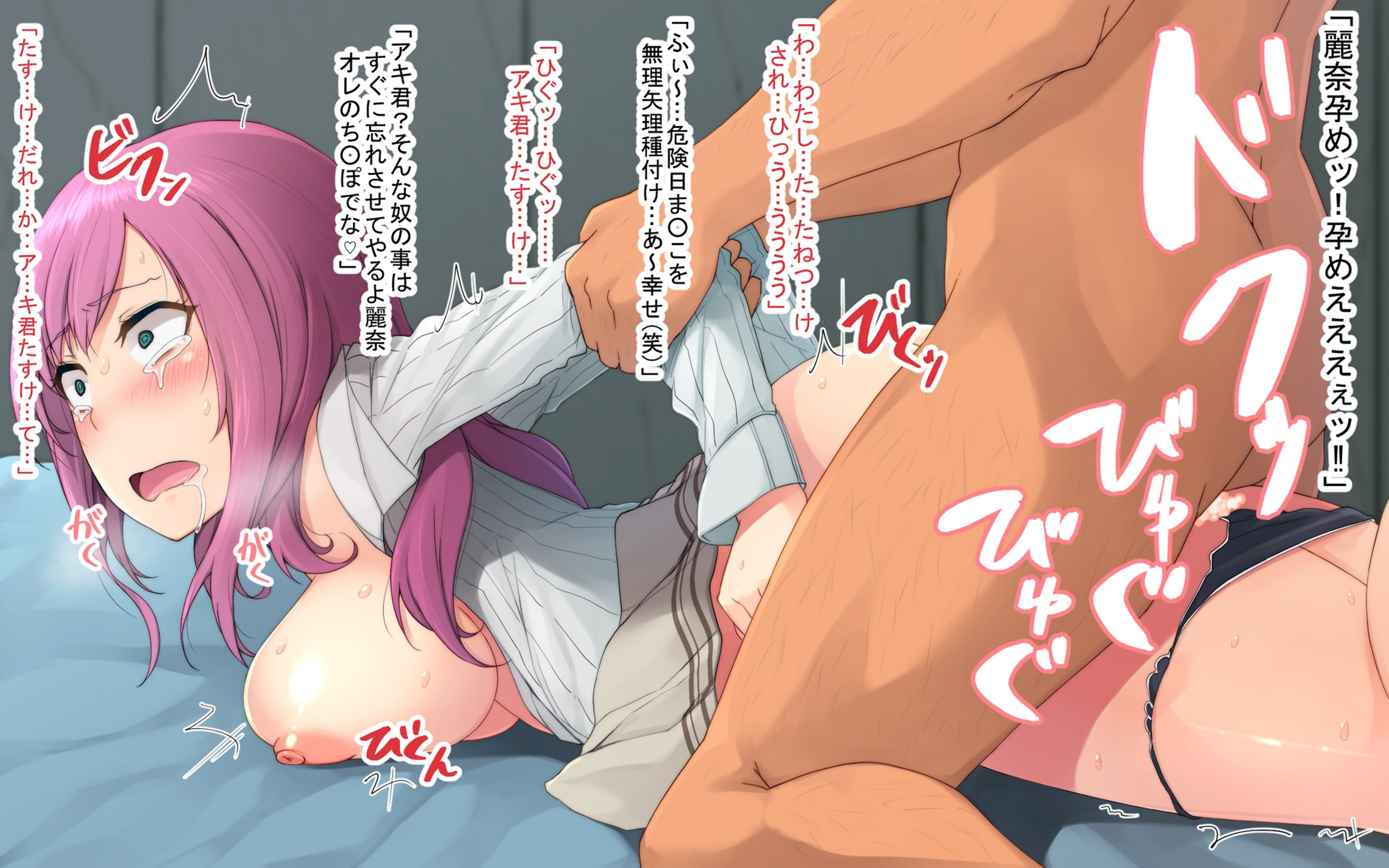
びゅ

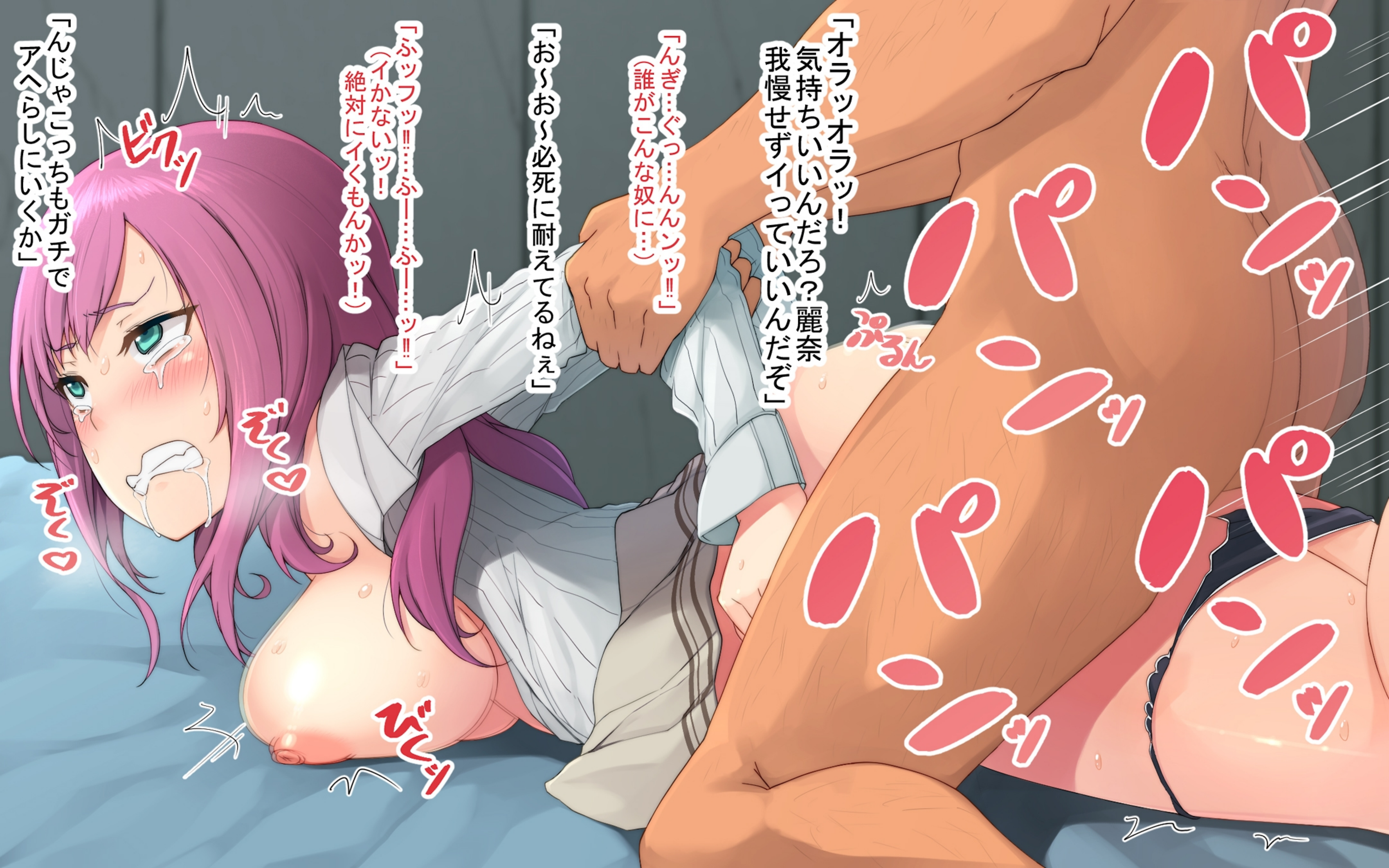
がく

がく

びゅん

「たす……け……だれ……か……ア……キ君たすけ……て……」





「オラッオラッ!
気持ちいいんだろ?麗奈
我慢せずイっていいんだぞ」

「んぎ...ぐっ...んんんッ!!」
(誰がこんな奴に...)

「おろおろ必死に耐えてるねえ」

「ふっふっ!!...ふ...ふ...ッ!!」
(イかないッ!
絶対にイクもんかッ!)

「んじゃ」っちもガチで
アへらしいくか」

ビクッ

ぞくぞく♡

ぞくぞく♡

びびッ

おろろん

ズ

ズ

ばちゅ
ばちゅ

ばちゅ
ばちゅ

「ひぎイツ!!」
(な...なにこれ...ツ!!)

「さっきと全然違うだろ?(笑)
さあいい声聴かせてくれよ麗奈♡」

「やっあつアツ♡
ま...ってや...ひんツ♡
ひゃあああ!!あツ!!あつア♡」

「ほらほら
もいっ気持ちよくしてあげるよ」

「ひやらツひやら♡
トぶツ♡やめ...ひやめ...
ああああツトんじやうツ!!」

「ほらいけツ!!
イっちやえ麗奈!!」

「イぐツ♡イグツ!!
だめえええツ!!
おがしぐなるううツ!!」

ビクッ

ぞく♡

ぞく♡

びく♡

24

—数時間後—

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

ばちゅ

「あっ♡アっ♡やっあっアッ♡
イぐッ♡イグ♡」

「オラっ!!イケッイケッ!
いきまくれ麗奈ッ!!」

「やっやっひやら!!
ひやらイグッ♡またグるッ!
やああああッ!!」

「ほら麗奈の大好きな種付けいくぞッ!!」

「やらやらやらッ!!
たねづけやらあああッ!!」

ぞん♡

びん♡

がが

ぞん♡

「ふう…ふう…麗奈は絶対にオレの物にしてやる」















